

自殺対策基本法施行から7年

## 「いのちのバトン」を受け取って

～山本孝史と自殺対策を振り返る～

1部：山本孝史映像特集

2部：それぞれの「バトン」を語ろう（進行役は下記の3名）



山本ゆき

「山本孝史のいのちのバトン」代表  
(大阪)



佐藤久男

NPO法人「蜘蛛の糸」理事長  
(秋田)



清水康之

NPO法人「ライフリンク」代表  
(東京)

2005年5月30日、参議院議員会館の会議室。国会で開催される民間団体主催の初めてのシンポジウム。山本孝史と清水康之は、この日のために何度も打合せを重ね、当日、秋田から佐藤久男、東京から西原由記子、茨城から南部節子、大阪から佐藤まどかななどが参加。議員たちの前で、自殺問題の現実を知ってほしい、そして国の責任で自殺対策に取り組んで欲しいと必死に訴えた。じつと耳を傾けていた自民党の尾辻秀久厚労相が決意を表明。やっと自殺対策で動き出した国会だが、その年の12月、山本にがんが……。

清水康之、佐藤久男、山本ゆきが進行役となって当時を振り返り、山本孝史を偲びながら、それぞれが山本から受け取った「バトン（それぞれの活動）」について、みんなでともに語り合う。

2013年12月8日（日）14：00～16：30

大阪国際交流センター3階「銀杏」（参加費無料）

大阪市天王寺区上本町8-2-6 電話：06-6772-5931

（近鉄線大阪上本町駅14番出口、千日前線谷町九丁目10番出口）